



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月7日

上場取引所 東 名

上場会社名 中部飼料株式会社

コード番号 2053 URL <https://www.chubushiryō.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 晴信

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 伊藤 敏宏 TEL 052-204-3050

定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月27日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無（当社ウェブサイトにて決算説明動画を掲載予定）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

#### （1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	234,227	△3.8	3,932	135.4	4,464	115.7	3,327	301.9
2023年3月期	243,476	25.9	1,670	△59.6	2,069	△54.7	827	△74.2

（注）包括利益 2024年3月期 5,414百万円（1,027.3％） 2023年3月期 480百万円（△86.3％）

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	112.57	—	5.3	4.4	1.7
2023年3月期	28.00	—	1.3	2.2	0.7

（参考）持分法投資損益 2024年3月期 127百万円 2023年3月期 42百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	103,824	65,662	63.2	2,218.06
2023年3月期	97,595	61,410	62.7	2,070.58

（参考）自己資本 2024年3月期 65,568百万円 2023年3月期 61,180百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	10,370	△4,567	△4,761	3,006
2023年3月期	△6,478	△3,562	7,242	1,953

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00	1,004	121.4	1.6
2024年3月期	—	17.00	—	23.00	40.00	1,182	35.5	1.9
2025年3月期 (予想)	—	25.00	—	25.00	50.00		43.5	

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	209,000	△10.8	4,200	6.8	4,600	3.0	3,400	2.2	115.01

（注）当社は、年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2024年3月期	30,371,908株	2023年3月期	30,371,908株
2024年3月期	810,537株	2023年3月期	824,430株
2024年3月期	29,557,088株	2023年3月期	29,567,194株

(参考) 個別業績の概要

2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	216,451	△1.9	3,505	183.6	3,948	137.0	3,009	526.1
2023年3月期	220,672	30.2	1,236	△67.0	1,666	△59.8	480	△83.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	101.83	—
2023年3月期	16.26	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	101,088	60,761	60.1	2,055.43
2023年3月期	94,269	56,767	60.2	1,921.21

(参考) 自己資本 2024年3月期 60,761百万円 2023年3月期 56,767百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2024年5月7日（火）に決算説明の動画を配信する予定です。この決算説明で使用する資料については同時に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

	2023年3月期 (百万円)	2024年3月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	243,476	234,227	△ 9,249	△ 3.8
飼料	229,707	218,889	△ 10,818	△ 4.7
その他	13,768	15,337	1,568	11.4
営業利益	1,670	3,932	2,262	135.4
経常利益	2,069	4,464	2,394	115.7
セグメント利益	1,085	4,487	3,402	313.4
飼料	463	4,301	3,837	827.5
その他	960	821	△ 138	△ 14.4
調整額	△ 338	△ 635	△ 296	—
親会社株主に帰属する当期純利益	827	3,327	2,499	301.9

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種制限の緩和や雇用・所得環境の改善などにより、景気は緩やかな回復基調にあります。一方で、円安の進行や物価の上昇、中国景気の減速懸念や中東情勢の悪化など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

飼料業界におきましては、外国為替相場が円安基調で推移したものの、2022年夏から上昇基調にあった主原料のとうもろこし価格が2023年年初以降下落基調で推移しました。一方、パナマ運河の水位低下による通航制限から、11月以降は海上運賃が大幅に上昇しました。このような状況を反映して、当社は4月から3四半期連続で値下げした配合飼料価格を第4四半期に値上げしました。また、飼料メーカーが負担する飼料価格安定基金負担金単価の高止まりや、前期に過去最大規模で広がった鳥インフルエンザの影響による採卵鶏用飼料の流通量減少など、厳しい事業環境は続いております。

このような状況のなか、当社グループは飼料セグメントの収益力向上と規模拡大、その他セグメントの事業成長の加速、成長する収益基盤を支えるサステナビリティ経営の推進の3つの基本戦略を基に、強固な収益基盤の構築に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,342億27百万円（前期比3.8%減）、営業利益39億32百万円（前期比135.4%増）、経常利益44億64百万円（前期比115.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益33億27百万円（前期比301.9%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益の増益幅が大きい主な要因は、前期に特別損失に計上した貸倒引当金繰入額がなくなったためであります。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## (飼料)

売上高は、2024年1月に連結子会社のみらい飼料株式会社を持分法適用会社に変更したことや、前期比で畜産飼料販売量が横ばいであったものの、平均販売価格が下回ったことなどから、4.7%減の2,188億89百万円となりました。セグメント利益は、前期比9.3倍の43億1百万円となりました。畜産飼料は、販売面では養鶏用飼料の販売量が減少したものの、養豚用飼料及び養牛用飼料は拡販を果たしました。利益面では飼料価格安定基金負担金や人件費等の増加があったものの、原料ポジション改善による利益率向上や電力費及び燃料費単価の下落、貸倒引当金繰入額の減少などにより、増益となりました。また、水産飼料は、販売量増加に加え、原料価格高騰等を反映した値上げや新製品の投入などにより、業績が改善しました。

## (その他)

売上高は、前期比11.4%増の153億37百万円、セグメント利益は、前期比14.4%減の8億21百万円となりました。鶏卵販売は、卵価高を受け増収となったことや外食・業務向けが復調したことなどから、増益となりました。畜産用機器は、販売台数が減少したものの利益率改善により、増益となりました。肥料は、肥料需要の減少により販売量が前期を大幅に下回ったため、減益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ62億29百万円増加の1,038億24百万円となりました。主な増減は、受取手形の増加20億44百万円、その他流動資産の増加40億75百万円、建物及び構築物の増加10億95百万円、投資有価証券の増加27億71百万円、原材料及び貯蔵品の減少33億48百万円であります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ19億77百万円増加の381億61百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加35億81百万円、未払法人税等の増加7億99百万円、繰延税金負債の増加8億72百万円、短期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)の減少48億39百万円であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ42億51百万円増加の656億62百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の増加23億22百万円、その他有価証券評価差額金の増加18億59百万円であります。純資産の増加率が総資産の増加率を上回った結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.5ポイント上昇の63.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、30億6百万円となりました。当連結会計年度における資金の増加は10億52百万円でありました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は103億70百万円(前期は64億78百万円の資金使用)となりました。主な資金獲得の要因は税金等調整前当期純利益44億87百万円、減価償却費29億35百万円、棚卸資産の減少25億74百万円、仕入債務の増加78億79百万円であります。一方、主な資金使用の要因は売上債権の増加58億55百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は45億67百万円(前期比10億4百万円増加)となりました。主な資金使用の要因は固定資産の取得による支出38億28百万円、貸付けによる支出12億82百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は47億61百万円(前期は72億42百万円の資金獲得)となりました。主な資金使用の要因は借入金の減少が純額で37億53百万円、配当金の支払額10億8百万円であります。

(4) 今後の見通し

当社は、市場環境及び足元の状況を踏まえ、2025年3月期を初年度とする「中期経営計画2024」(2024年3月期～2027年3月期)を策定しました。2025年3月期以降は、飼料価格安定基金負担金のさらなる増加(2025年3月期は約13億円増加)やエネルギー価格の高止まり、積極的な設備投資による減価償却費の増加などが見込まれます。そうした中、当社はお客様への飼料の安定供給責任を万全に果たすことを使命とし、以下の基本戦略を着実に実行することで、回復基調にある業績を確実なものとし、より強い収益基盤を再構築してまいります。

① 飼料セグメントの収益力向上と規模拡大

飼料の付加価値販売の徹底、成長市場である北海道における拡販、環境に配慮した飼料の開発・販売などによる差別化飼料比率の向上、魚粉比率を大幅に低減した水産飼料の拡販、製造・販売・研究一体の強みであるスピード感を生かした提案営業の強化などに取組みます。また、2023年に完成した養豚研究施設に続き水産・養牛研究施設を順次稼働させ新製品の開発を加速させます。さらに、ROICツリーを活用して経営課題を各部門に落とし込み、収益性の向上を図ってまいります。

② その他セグメントの事業成長の加速

鶏卵の安定供給の取組み強化や高価格帯商品の販売強化、有機入り配合肥料の強みを活用した販売強化や関東の製造拠点の設備増強、海外市場への販売強化や新市場への参入による畜産用機器の拡販などにより、各事業の成長を加速させます。

③ 成長する収益基盤を支えるサステナビリティ経営の推進

サステナビリティ委員会を推進母体としてESGの取組みを推進し、温室効果ガスの削減、人的資本への積極的な投資、取締役会やリスクマネジメントの実効性向上などを通じて収益基盤を支えます。

	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	ROE (%)
2025年3月期	4,200	4,600	3,400	5.3
2026年3月期	5,400	5,800	4,300	6.5
2027年3月期	6,600	7,000	5,100	7.5

(注) 上記の経営計画は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営政策の一つと考え、安定配当を維持向上させることを基本に考えております。持続的な成長を支える成長投資や設備投資、内部留保とのバランスをとり、純資産配当率(DOE)の段階的な引き上げを実施し、「中期経営計画2024」の最終年度である2027年3月期にDOE3%以上を目指します。また、株価水準や財務状況等を勘案して自己株式の取得をより機動的かつ積極的に実施することで、資本効率の改善と株主の皆様への還元を図ります。

この基本方針に基づき、当期末の配当につきましては、1株当たり23円とし、先に実施しました中間配当(1株当たり17円)と合わせて、年40円の配当(DOEは1.9%)を予定しております。

次期の配当につきましては、1株につき年50円(中間25円、期末25円、DOEは約2.3%)を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は、現在のところ日本国内を中心に展開しております。したがって、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,963	3,006
受取手形	7,773	9,817
売掛金	36,843	36,229
商品及び製品	3,324	3,083
仕掛品	772	752
原材料及び貯蔵品	13,119	9,770
その他	3,242	7,318
貸倒引当金	△428	△424
流動資産合計	66,610	69,553
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,572	26,101
減価償却累計額	△15,880	△16,313
減損損失累計額	△19	△19
建物及び構築物(純額)	8,672	9,768
機械装置及び運搬具	47,633	47,827
減価償却累計額	△41,074	△41,446
減損損失累計額	△8	△8
機械装置及び運搬具(純額)	6,550	6,371
工具、器具及び備品	4,282	4,383
減価償却累計額	△3,151	△3,213
工具、器具及び備品(純額)	1,130	1,170
土地	7,049	6,780
リース資産	—	10
減価償却累計額	—	△0
リース資産(純額)	—	9
建設仮勘定	1,198	599
有形固定資産合計	24,602	24,700
無形固定資産	512	445
投資その他の資産		
投資有価証券	4,843	7,614
繰延税金資産	76	64
退職給付に係る資産	112	210
その他	1,959	2,311
貸倒引当金	△1,122	△1,075
投資その他の資産合計	5,869	9,124
固定資産合計	30,984	34,270
資産合計	97,595	103,824

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	17,714	21,295
短期借入金	6,363	1,800
1年内返済予定の長期借入金	1,846	1,570
リース債務	—	1
未払費用	1,818	1,784
未払法人税等	101	901
賞与引当金	380	395
役員賞与引当金	27	71
その他	655	1,846
流動負債合計	28,907	29,666
固定負債		
長期借入金	4,160	4,250
リース債務	—	8
繰延税金負債	41	914
退職給付に係る負債	535	525
資産除去債務	71	72
その他	2,467	2,724
固定負債合計	7,276	8,495
負債合計	36,184	38,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,736	4,736
資本剰余金	4,325	4,317
利益剰余金	51,791	54,113
自己株式	△966	△949
株主資本合計	59,887	62,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,201	3,061
繰延ヘッジ損益	△31	89
為替換算調整勘定	56	84
退職給付に係る調整累計額	66	115
その他の包括利益累計額合計	1,293	3,351
非支配株主持分	230	93
純資産合計	61,410	65,662
負債純資産合計	97,595	103,824



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	243,476	234,227
売上原価	230,315	217,484
売上総利益	13,160	16,742
販売費及び一般管理費	11,490	12,810
営業利益	1,670	3,932
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	181	199
持分法による投資利益	42	127
貸倒引当金戻入額	0	48
債務保証損失引当金戻入額	16	—
受取賃貸料	39	35
受取保険金	46	—
その他	130	158
営業外収益合計	460	573
営業外費用		
支払利息	39	41
為替差損	17	—
その他	4	0
営業外費用合計	61	41
経常利益	2,069	4,464
特別利益		
固定資産売却益	5	71
投資有価証券売却益	55	5
特別利益合計	61	77
特別損失		
固定資産除売却損	5	2
投資有価証券評価損	—	51
関係会社清算損	—	0
貸倒引当金繰入額	1,040	—
特別損失合計	1,045	53
税金等調整前当期純利益	1,085	4,487
法人税、住民税及び事業税	561	1,131
法人税等調整額	△311	2
法人税等合計	250	1,133
当期純利益	835	3,353
非支配株主に帰属する当期純利益	7	26
親会社株主に帰属する当期純利益	827	3,327

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	835	3,353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	90	1,859
繰延ヘッジ損益	△445	121
為替換算調整勘定	16	17
退職給付に係る調整額	△20	48
持分法適用会社に対する持分相当額	4	13
その他の包括利益合計	△354	2,060
包括利益	480	5,414
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	470	5,385
非支配株主に係る包括利益	9	29

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,736	4,337	51,971	△757	60,287
当期変動額					
剰余金の配当			△1,008		△1,008
親会社株主に帰属する当期純利益			827		827
自己株式の取得				△225	△225
自己株式の処分		△0		0	0
譲渡制限付株式報酬		△11		16	5
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△11	△180	△208	△400
当期末残高	4,736	4,325	51,791	△966	59,887

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,111	413	38	87	1,650	220	62,159
当期変動額							
剰余金の配当							△1,008
親会社株主に帰属する当期純利益							827
自己株式の取得							△225
自己株式の処分							0
譲渡制限付株式報酬							5
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	90	△445	18	△20	△357	9	△347
当期変動額合計	90	△445	18	△20	△357	9	△748
当期末残高	1,201	△31	56	66	1,293	230	61,410

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,736	4,325	51,791	△966	59,887
当期変動額					
剰余金の配当			△1,004		△1,004
親会社株主に帰属する当期純利益			3,327		3,327
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△0		0	0
譲渡制限付株式報酬		△8		16	7
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	－	△8	2,322	16	2,330
当期末残高	4,736	4,317	54,113	△949	62,217

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,201	△31	56	66	1,293	230	61,410
当期変動額							
剰余金の配当							△1,004
親会社株主に帰属する当期純利益							3,327
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							0
譲渡制限付株式報酬							7
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,859	121	27	48	2,058	△136	1,921
当期変動額合計	1,859	121	27	48	2,058	△136	4,251
当期末残高	3,061	89	84	115	3,351	93	65,662

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,085	4,487
減価償却費	3,021	2,935
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△71	14
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5	44
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,203	△47
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△21	△37
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△16	—
受取利息及び受取配当金	△184	△203
支払利息	39	41
為替差損益 (△は益)	△1	△11
持分法による投資損益 (△は益)	△42	△127
投資有価証券売却損益 (△は益)	△55	△5
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	51
固定資産除売却損益 (△は益)	△0	△69
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,403	△5,855
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,095	2,574
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,453	7,879
その他	771	△1,183
小計	△5,323	10,487
利息及び配当金の受取額	184	201
持分法適用会社からの配当金の受取額	109	96
利息の支払額	△37	△41
法人税等の支払額	△1,411	△373
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△6,478</b>	<b>10,370</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△0	△0
有価証券の売却による収入	58	14
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△6
固定資産の取得による支出	△3,609	△3,828
固定資産の売却による収入	21	101
貸付けによる支出	△300	△1,282
貸付金の回収による収入	0	381
定期預金の払戻による収入	—	10
その他の支出	△25	△31
その他の収入	292	74
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,562</b>	<b>△4,567</b>

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,256	△3,824
リース債務の返済による支出	—	△0
長期借入れによる収入	5,200	1,900
長期借入金の返済による支出	△2,206	△1,828
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△1,007	△1,008
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,242	△4,761
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,788	1,052
現金及び現金同等物の期首残高	4,741	1,953
現金及び現金同等物の期末残高	1,953	3,006

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品及び販売市場の類似性に基づいて事業部門を置き、各事業部門で包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部門を基礎とした製品・販売市場別のセグメントから構成されており、「飼料」を報告セグメントとしております。

「飼料」は、畜産飼料等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	飼料	計				
売上高						
外部顧客への 売上高	229,707	229,707	13,768	243,476	—	243,476
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	41	41	△41	—
計	229,707	229,707	13,810	243,518	△41	243,476
セグメント利益	463	463	960	1,423	△338	1,085
セグメント資産	88,548	88,548	9,396	97,945	△350	97,595
その他の項目						
減価償却費	2,910	2,910	77	2,988	32	3,021
受取利息	—	—	—	—	3	3
支払利息	—	—	—	—	39	39
持分法投資利益	42	42	—	42	—	42
特別利益	5	5	0	5	55	61
特別損失	1,045	1,045	0	1,045	0	1,045
持分法適用会社へ の投資額	316	316	—	316	—	316
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	3,393	3,393	7	3,400	36	3,437

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器、鶏卵事業等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,106百万円、金融収支826百万円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額は、全社資産4,450百万円、セグメント間取引消去△4,800百万円であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の税金等調整前当期純利益と調整を行っております。

4. セグメント負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはなっていないため記載していません。



当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	飼料	計				
売上高						
外部顧客への 売上高	218,889	218,889	15,337	234,227	—	234,227
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	18	18	△18	—
計	218,889	218,889	15,355	234,245	△18	234,227
セグメント利益	4,301	4,301	821	5,122	△635	4,487
セグメント資産	89,950	89,950	10,571	100,521	3,302	103,824
その他の項目						
減価償却費	2,827	2,827	66	2,894	40	2,935
受取利息	—	—	—	—	3	3
支払利息	—	—	—	—	41	41
持分法投資利益	127	127	—	127	—	127
特別利益	12	12	—	12	64	77
特別損失	1	1	1	2	51	53
持分法適用会社へ の投資額	522	522	—	522	—	522
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	3,968	3,968	51	4,020	78	4,098

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器、鶏卵事業等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,384百万円、金融収支860百万円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額は、全社資産7,040百万円、セグメント間取引消去△3,738百万円であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の税金等調整前当期純利益と調整を行っております。

4. セグメント負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはなっていないため記載しておりません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,070円58銭	2,218円06銭
1株当たり当期純利益	28円00銭	112円57銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	827	3,327
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	827	3,327
普通株式の期中平均株式数(株)	29,567,194	29,557,088

(重要な後発事象)

該当事項はありません。